

## くまびょう

128号

NEWS

くまびょう  
NEWS2008年  
2月1日

[発行所]

国立病院機構熊本医療センター

〒860-0008

熊本市二の丸1番5号

TEL (096) 353-6501(代)

FAX (096) 325-2519

## 平成19年度第2回開放型病院運営協議会開催される

平成19年度第2回（通算25回）の国立病院機構熊本医療センター開放型病院運営協議会が2007年12月28日（金）午後7時より地域医療研修センター会議室で開催されました。協議会の委員は熊本市医師会より医師会長の福田 稔先生、担当理事の田中先生、清田先生、竹下先生がご出席頂き、当院より宮崎院長、池井副院長、河野副院長、野村統括診療部長が出席しました。院長より医師会長はじめ医師会委員の先生方に日頃のお礼を述べ、続いて福田委員長より挨拶を頂きました。議事に移り、事務局より開放型病院利用状況、開放型病院登録医数、訪問医師数、共同指導数などを報告しました。次いで第23回開放型病院連絡会（2007年9月11日、くまもと県民交流館）の参加者数、「くまびょうニュース」の発行状況について報告を行いました。第23回連絡会には多数の参加者が有り、ご参加の先生方には改めてお礼

申し上げます。「くまびょうニュース」は毎月1,700部を超えて発行されるようになったことが報告されました。次の協議事項では、平成19年度第2回（通算第24回）開放型病院連絡会の開催について協議され、2008年2月19日（火）午後7時より開催することが決定しました。これまで年度2回目の連絡会は地域医療研修センターで開催してきましたが、今年度は病院新築工事のためくまもと県民交流館パレオホールに変更になりました。内容は、例年通り、症例呈示、開放型病院への要望を中心とした総合討論、最後に特別講演を行うことになりました。特別講演は「これからの医療提供体制」についての講演を厚生労働省の先生にお願いすることになりました。

開放型病院連絡会に多数の先生方、スタッフの皆様がご参加頂きますようお願い申し上げます。

（副院長 池井 聡）

## 第24回 開放型病院連絡会開催のご案内

平成19年度第2回通算第24回開放型病院連絡会を、下記の日程で開催致します。

ご紹介頂きました症例の呈示のあと、総合討論で先生方から当院に対する忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。最後に厚生労働省医政局指導課 医療計画推進指導官伊東芳郎先生に「これからの医療提供体制について考える」との演題で特別講演をお願いしてございます。医療提供体制についての最新のお考えを拝聴できるものと期待しています。先生方はもとより看護部門、事務部門、MSWなど多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

なお当日、会場にて新規登録医の受付も行います。ご希望の先生は会場受付でお申し付け下さいますようお願いいたします。

記

- 日時 : 2008年2月19日（火）午後7時～午後9時  
場所 : くまもと県民交流館パレオホール（鶴屋東館10階）  
内容 : 1. 紹介症例の呈示 2題  
2. 総合討論  
3. 特別講演 「これからの医療提供体制について考える」

厚生労働省医政局指導課 医療計画推進指導官 伊東芳郎先生

〈お問い合わせ先〉国立病院機構熊本医療センター管理課  
電話 096-353-6501 内線390（西田・牧野）  
住所 〒860-0008 熊本市二の丸1-5



## 新春雑感

### 水前寺内科循環器科 院長 山口 英治



新年明けましておめでとうございます。

私は水前寺にて糖尿病、高血圧等の循環器疾患を専門に開業致しておりますが、開業して14年になります。その間国立病院機構熊本医療センターの先生方には昼夜を問わず大変お世話になっており、開業医と致しまして大変有難く思っております。

当医院は昨年3月一杯で有床診療所をやめました。が、その時も国立病院機構熊本医療センターという

入院紹介のできる病院の存在で気持ちが楽になり本当に助かりました。これからも国立病院機構熊本医療センターの先生方にはよろしく願い申し上げます。

ところで50歳にして特に痛切に思う事があります。それは人生は短く一度しかないの、悔いのないように時間を大切に使うていかなければならないということでもあります。最近では結婚式に出るより葬式に出る回数の方が圧倒的に多くなりました。自分の健康に不安を感じる事も多々あります。それ故仕事も趣味も平行して頑張り、借金も仕事の励みとしなければならぬと思っています。

私の趣味はゴルフですが、昨年12月嬉しいことがありました。チサン8番で2回ホールインワンしかけたことあります。12月2日はピン横1センチでした。これが入らない人は一生入ることがないので、マイナス思考でいましたら、何を言っているの貴方、ホールインワンが近づいてると何故思わないの？と女房が一言。そしたら16日同じホールでピンをかすめて1メートルでした。女房のいうとおり今年はずべての事にプラス思考でがんばり、時間を大切に生きて行こうと思っています。仕事でも遊びでも。一度しかない人生ですから。

## 平成19年度第2回

### 熊本市歯科医師会・国立病院機構熊本医療センター連絡協議会報告

平成19年度第2回開放型病院連絡協議会の開催を前にして、去る2008年1月7日(月)、熊本市歯科医師会と熊本医療センターとの懇談会が催されました。市歯科医師会からは古賀会長、藤波副会長、清村専務理事、田中医療管理理事、宮本医療管理委員会委員長、当院からは宮崎院長、池井副院長、河野副院長、野村統括診療部長、高橋救命救急部長、児玉歯科口腔外科医長が出席しました。

宮崎院長、古賀会長の挨拶の後、議事に入りました。まず児玉より、当歯科口腔外科への紹介率について、平均36.1%と現状を保っていることを報告し、さらなる歯科医師会のご協力をお願いしました。

次いで、前回会議で歯科医師会からお話のあった重度障害者歯科医療の紹介が2例であったことや、救急蘇生講座は2008年11月13日(木)に予定したことを報

告しました。

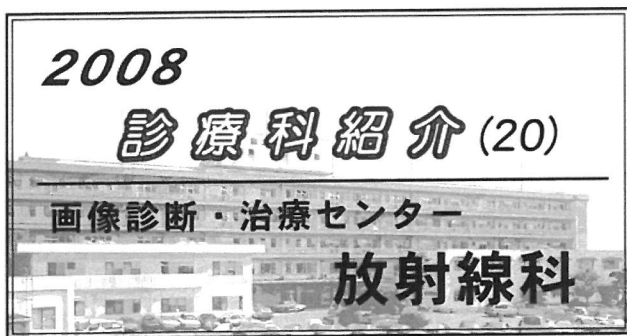
次に高橋部長より、2007年度の歯科口腔外科救急症例数は151名と前年より増加し、紹介症例数も25例と増加しているとの報告がありました。

続いて池井副院長より、2008年2月19日(火)に鶴屋東館10階のパレアホールで開催される開放型連絡協議会について、症例呈示、全体会議の後に特別講演を予定していることが報告されました。

最後に、近年話題に上っている口腔ケアのクリティカルパス作成について歯科医師会から野村部長に質問があり、その結果、熊本医療センターで原案を作成し、それに沿って歯科医師会と話し合いを持ち完成させることとなりました。この様な取り組みは歯科と内科との医療連携を深める良い機会だと思いました。

(歯科・口腔外科医長 児玉 罔昭)





浅尾 千秋  
放射線診断、IVR  
日本医学放射線学会専門医



富高 悦司  
放射線治療、放射線診断  
日本医学放射線学会専門医

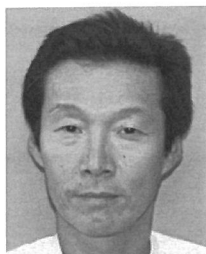
## 診療内容と特色

当院は放射線科全部門における放射線科専門医修練機関です。放射線科スタッフは画像診断専門医3名、治療専任医1名、放射線技師16名で画像診断、IVR（画像診断を用いた経皮的治療）、放射線治療の3部門を担っています。

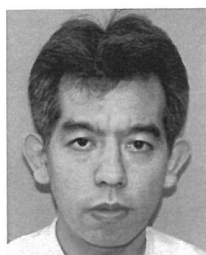
画像診断部門では、CT装置2台（10列マルチスライスCTとヘリカルCT）、MRI-1.5T装置2台、X線テレビ装置3台、RI装置、血管造影装置、心血管撮影装置、乳腺撮影装置、CR装置が稼働しています。2007年2月にシーメンス社製MRI-1.5T装置を新規に導入しました。

2006年10月の電子カルテシステム導入と2007年2月の完全フィルムレス化に伴い院内の全画像と画像診断報告書がモニタ参照できるようになりました。院外への画像配信はCDによる運用が可能です。また、院外への画像と画像診断報告書のWeb配信を構築中です。

IVRでは肝癌、膀胱癌、子宮癌を中心に動注化学療法および塞栓術や、救急症例における腹部骨盤出血の緊急止血術を行っています。侵襲的な経動脈性の血管造影は治療を前提としたIVR症例でのみ施行されています。診断目的の経動脈性血管造影はほとんどがマルチスライスCTによる3D-CT血管撮影やMR血管撮影に置き換わりました。MR血管撮影ではスクリーニングで造影剤を用いることなくきれいな脳動脈の画像が得られています。また、造影剤を用いることで閉塞性動脈硬化症等の末梢血管は高精細な3D画像が得られています。



吉松 俊治  
放射線診断、IVR  
日本医学放射線学会専門医  
熊本大学医学部臨床教授



荒木 裕至  
放射線診断、IVR  
日本医学放射線学会専門医

放射線治療部門にはリニアックと遠隔腔内照射装置（RALS）があり、悪性リンパ腫、乳癌（乳房温存術後）、頭頸部癌、子宮癌、前立腺癌等の症例を中心に良好な成績をおさめています。当院では小児と成人の骨髄移植が行われており、成人の骨髄移植における全身照射は県内唯一の施行機関です。

## 診療実績

2006年度の検査治療件数はCT16,000人、MRI3,900人、核医学827人、血管造影（IVR）197人です。放射線治療は年間300人でうち新患が250人でした。

## ご案内

外来検査予約は放射線科受付096(353)6501(代)(内線323)に電話で予約した後、専用の検査予約FAX送信票（診療情報提供書兼紹介状）を医事へFAX(096-323-7601)お願い致します。

放射線治療外来は予約制で月火木金に新患外来を行っています。事前に放射線治療医富高（内線812）までご連絡くださいますようお願いいたします。

## 研究実績

- Signal intensity of the normal pontine tegmentum on T2-weighted MR imaging Chiaki Asao, Toshinori Hirai, et al, Neuroradiology 48: 166-170, 2006
- 治験 Z-100 第Ⅲ層比較臨床試験 -子宮頸癌患者を対象としたプラセボ対照比較臨床試験- (産婦人科と共同)
- 閉鎖孔ヘルニア7例におけるCT所見の検討 斉藤哲雄、荒木裕至、浅尾千秋、富高悦司、吉松俊治 第165回日本医学放射線学会九州地方会 2006年6月24日
- ケロイド術後放射線治療の初期治療経験 富高悦司、斉藤哲雄、荒木裕至、浅尾千秋、吉松俊治 第19回日本放射線腫瘍学会総会 2006年11月23日
- 厚生労働省がん研究助成金17-18「放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究」班 班友

## 最近のトピックス

### 口腔ケア最近の進歩



歯科・口腔外科

片岡 奈々美

ここ数年、口腔ケアがチーム医療の一つとして注目されつつあり、2006年度厚生労働省の口腔機能向上マニュアルなどからも、口腔ケアが歯科医療従事者だけでなく、医師、看護師、薬剤師、栄養士などとのチーム医療の中の一つとして、非常に重要な位置を占めていることが窺えます。つまり、ここで述べます口腔ケアは各種疾患の治療の一環として組み込まれたものと言えます。

最近の研究により、口腔ケアが口内炎など口腔内各種感染症の発症や、真菌、MRSA感染、誤嚥性肺炎、人工呼吸器関連肺炎（VAP）などの発症抑制に効果がある、ということが明らかになってきました。また2007年のAHA（American Heart Association）の改定においても、慢性的な口腔内感染症に起因する感染性心内膜炎など、菌血症の可能性の高さを重要視しています。口腔ケアは特に免疫抑制を伴う治療を行う場



図1 ICUでの気管挿管中の口腔ケア

合には重要です。当院で実施しているような造血幹細胞移植や化学療法患者などでは口腔ケアを専門的かつ継続的に実施することで、口内炎、口腔内各種感染症、誤嚥性肺炎、真菌やMRSA感染など明らかに減少しています。

口腔ケアは、患者自身で行うセルフケアと介護によるケアと、その両方が含まれるケアの3つに分けられます。また患者の口腔や全身状態によっても、その方法が変わってきますので、一定の口腔ケアでは対応できません。著明な口内炎、易感染性・出血性素因のある患者、または人工呼吸のための気管挿管がなされている患者などには、それぞれに適した清掃法・洗浄剤を使った口腔ケアが必要となります。どのような方法を使うにしても、歯・義歯・口腔粘膜を清掃することで、健全な口腔環境にして正常な口腔細菌叢を保つという目的を念頭に入れ、口腔ケアを行うことです。それには一日食後3回の歯磨きと7回のうがい（介護では洗浄）が適当だと思います。また介護によるケアでは、吸引操作を行って誤嚥を防ぐことが大切です。

多種多様な口腔ケアはチーム医療の一つとして、専門的かつ継続的に実施することが大切で、口内炎、肺炎などの各種感染症を予防し、また患者のQOLを高めることで、全身免疫の活性化に繋がるものと思います。



図2 各種口腔ケア用品

左から吸引付きくるりナブラシ、くるりナブラシ、DENTMAXIMA(MS)(S)、舌ブラシ、吸引付きブラシ

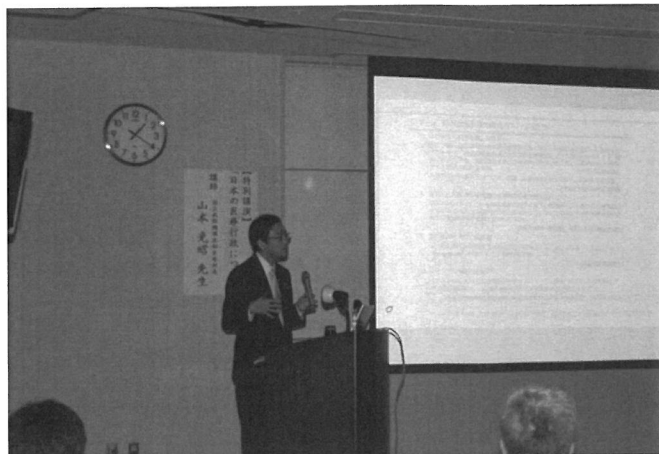


## 第13回 国立病院機構熊本医療センター医学会開催される

2008年1月19日、20日の両日にわたって、第13回国立病院機構熊本医療センター医学会が、地域医療研修センターにて開催されました。本学会は、当院の全職種のスタッフが、日ごろの臨床研究の成果を発表し、当院の医療水準の向上を目指すとともに、お互いの理解を深めることを目的としていますが、今回は、一般演題70題が報告されました。また、特別講演には、国立病院機構本部医療部長の山本光昭先生に、“日本の医療行政”というタイトルでご講演頂きました。また、本学会は、開放型病院登録医の先生方のご参加も頂いておりますが、今回も、田嶋 哲先生（田嶋外科内科医院）、山崎雅史先生（山崎内科）、木村圭志先生（七城木村クリニック）の諸先生に座長をお願いし数々の助言と活発な討論を行って頂きました。また、前年度の当学会で発表した演題で論文化された中から、優秀賞：看護部 岩崎伊代、奨励賞：呼吸器内科 清水千華子、血液内科 東野哲志、リハビリテーション科

永田光二郎、放射線科 堀上英昭、熊本市消防局 石原和人、荒木龍起（敬称略）の7名が、宮崎院長より表彰されました。次年度もさらに立派な医学会となるよう全スタッフの努力が望まれます。

（副院長・臨床研究部長 河野 文夫）



山本光昭先生による特別講演

## 日本医療マネジメント学会 第10回熊本地方会開催のお知らせ

患者中心の医療をめざして～医療安全の向上 連携医療の質の向上～

この度、日本医療マネジメント学会第10回熊本地方会を下記の通り開催することとなりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

世話人 丸田 秀一

（熊本整形外科病院・熊本リハビリテーション病院理事長）

期 日：2008年3月8日（土）12：00～17：00

会 場：熊本学園大学12号館

熊本市大江2丁目5番1号

（学会専用の駐車場はありません。会場へのお越しは、公共の交通機関をご利用下さい。）

内 容：

### 1. 特別講演

「患者・医療スタッフ・病院」の安全を守る為のシステム」

名古屋大学医学部附属病院

医療の質・安全管理部 相馬 孝博 准教授

### 2. シンポジウム

「地域連携クリティカルパスの現状と課題」

3. 一般演題（口演）：公募（クリティカルパス、ITと医療、DPC、効率化、NST、地域連携、チーム医療、リスクマネジメント、感染対策、医療訴訟、マネジメントの質、電子カルテ、オーダリング、電子請求、患者サービス、人材育成等）

4. クリティカルパス展示：公募

参 加 費：本学会会員1,000円 非学会員3,000円

参加費は当日のお支払いとなります。

### 〈問い合わせ先〉

日本医療マネジメント学会第10回熊本地方会事務局

熊本整形外科病院 総務課（丸田・田邊）

〒862-0976 熊本市九品寺1丁目15-7

TEL096-366-3666 FAX096-362-2413

E-mail jimukyoku@marutakai.or.jp

WEB <http://www.marutakai.or.jp/kumasei/mmg/mmgindex.htm>

ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス

**<http://www.hosp.go.jp/~knh/>**

## 研修医レポート

### 外科

とく なか たく や  
徳 永 琢 也



2007年4月より、国立病院機構熊本医療センターの初期臨床研修プログラムでお世話になっております徳永琢也と申します。

4月から、研修医としての生活をスタートし、今まで循環器内科、神経内科、血液内科、救命救急部、麻酔科での研修を終え、現在外科で研修中です。

今までの各科での研修を振り返ると、初めて経験することが多く、慣れるのが精一杯で、自分の力不足を痛感しました。何事を行うにも、指導医の先生を始め、周囲のスタッフの方々に助けられた毎日でした。その

中で、自分のできる範囲も広がり、少しずつではありますが成長を実感できております。研修中に感じたこととして、患者様やご家族と接する際、スタッフの方々との連携などに際して、コミュニケーション能力の大切さを再認識しました。分かりやすい説明をすること、相手に上手に伝えることができるようコミュニケーション能力の向上を心がけようと思います。

研修1年目は内科3科目、救急部、麻酔科、外科を2ヶ月毎にローテートするため、環境の変化に戸惑うこともあります。多くの先生方や、スタッフの方々に接する機会があり、新たに身につけた知識や手技も多かったように感じました。また、同期の研修医も20名と多く、お互いに、情報交換を行い、刺激しあって、充実した研修生活を送っています。

2年目も国立病院機構熊本医療センターでお世話になります。今後の目標としては、しっかりと知識を身につけ、根拠のある検査、治療方針を立てられるようになることです。残りの研修期間も少しでも多くのことを経験できるよう、積極的な姿勢で日々の診療に臨もうと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

### 麻酔科

ひ ご なお とも  
肥 後 直 倫



はじめまして。2007年4月から国立病院機構熊本医療センターの初期臨床研修でお世話になっております肥後直倫と申します。私は初期研修の2年間を国立病院機構熊本医療センター専属のプログラムにて研修させて頂くこととなっております。

私は最初の半年間は内科系で研修をさせて頂き、腎臓内科・循環器内科・呼吸器内科で2ヶ月ずつ研修をさせて頂きました。その後、外科、救命救急部で研修をさせて頂き、現在は麻酔科で研修をさせて頂いております。いずれの科においても指導医の先生を中心に丁寧に指導して頂き、手技や病態・治療の考え方も

ちろんのこと、患者様との接し方や説明など大変勉強になっております。各科の垣根を越えてそのとき回っている科とは違う先生からも気軽に声を掛けて頂くことができ、分からない点や至らない点を教えて頂けるのは非常にありがたいことで、この病院で研修を行うことができ良かったと感じることの一つです。多数の同期にも恵まれ、支えられることや刺激を受けることも多く、充実した研修をさせて頂いております。

今年度の4月からは全てが初めてで戸惑うことばかりで、気が付けばあっという間に10ヶ月が過ぎてしまいました。日々の研修の中で当初に比べればできること・分かることも増えてきたと思います。しかしながらそういったことはまだまだわずかで、また、そういったことすらも満足にできないときもあり、自らの未熟さ・至らなさを痛感し、もっと精進しなくては、と反省の多い毎日です。ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、これからも御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い致します。

### 呼吸器センター

#### 呼吸器内科

ち が まさ ひこ  
値 賀 正 彦



2007年4月から国立病院機構熊本医療センターの初期臨床研修コースに採用して頂いております、値賀正彦と申します。熊本出身ですが、大学は鹿児島に行っていたので6年ぶりの熊本生活となります。研修医になってから半年以上が過ぎ、現在までに救急部、外科、

麻酔科、消化器科、循環器科と研修させて頂いて参りました。カルテを記載したりサマリーを書いたりする病院の日常業務にはある程度慣れてきましたが、2ヶ月ごとに科が変わるたびに新しい疾患、知らない薬の使い方などを覚えていかなければならず、悪戦苦闘の毎日です。そんな中で、最近では以前に得た知識が別の科で役立つ機会もでき始めて、研修していてよかったなと思わされます。初期研修の2年間でできるだけ多くのことを経験し、それらを知識として身につけていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



# ■ 研修のご案内 ■

## 第21回 熊本がんフォーラム(無料)

日時▶2008年2月6日(水)18:30~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

司会 国立病院機構熊本医療センター内科部長 清川 哲志  
 国立病院機構熊本医療センター血液・膠原病内科 榮 達智  
 「緩和ケア：院内の取り組みについて」  
 その他、一般演題を数題準備しています。  
 【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター副院長 池井 聡 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

## 第219回 初期治療講座(会員制)

[日本医師会生涯教育講座5単位認定]

[日本内科学会認定内科医更新のための2単位認定]

日時▶2008年2月16日(土)15:00~18:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

「呼吸器感染症の臨床」 座長 熊本県医師会理事 伊津野良治  
 1. 国立病院機構熊本医療センターにおける呼吸器感染症の現状  
 国立病院機構熊本医療センター呼吸器センター呼吸器内科 田尻 守拡  
 2. primary care における呼吸器感染症の臨床 甘木朝倉医師会病院副院長 古賀 丈晴  
 3. ウイルスとマクロライド 熊本大学大学院医学薬学研究部薬物治療学准教授 佐藤 圭創  
 この講座は有料で、年間10回を1シリーズ(年会費20,000円)として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は会費5,000円で参加いただけます。  
 【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501(代表) 内線263 096-353-3515(直通)

## 第109回 月曜会(無料)

(内科症例検討会)

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

日時▶2008年2月18日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 胸部X線写真真偽 国立病院機構熊本医療センター呼吸器センター呼吸器内科 田尻 守拡  
 2. 持ち込み症例の検討  
 3. 症例呈示「周期性四肢麻痺を来したバセドウ病の3例」  
 国立病院機構熊本医療センター糖尿病センター 児玉 章子  
 4. ミニレクチャー「下肢静脈血栓症の診断と治療」  
 国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター循環器科 福嶋隆一郎  
 日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線写真、心電図等がございましたら、ご持参下さいますようお願い致します。  
 【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター副院長 河野 文夫 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

## 第78回 三木会(無料)

(糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会)

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

[日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]

日時▶2008年2月21日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 「植木病院における生活習慣病療養指導の効果」  
 植木町国民健康保険植木病院 勇 聡、山城武司  
 2. 「糖尿病腎症食事療法導入クリティカルパスについて」  
 国立病院機構熊本医療センター糖尿病センター  
 豊川哲至、市原ゆかり、児玉章子、高橋 毅、東輝一郎  
 3. 「改訂した地域連携クリティカルパス(糖尿病)について」  
 国立病院機構熊本医療センター糖尿病センター  
 東輝一郎、市原ゆかり、児玉章子、高橋 毅、豊川哲至  
 なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。  
 【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一郎 TEL 096-353-6501(代表) 内線705

## 第88回 救急症例検討会(無料)

日時▶2008年2月27日(水)18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

テーマ:症例検討「胸痛・呼吸困難」  
 国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター心臓血管外科医長 毛井 純一  
 国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター循環器科医長 藤本 和輝  
 国立病院機構熊本医療センター呼吸器センター呼吸器内科 田尻 守拡  
 医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、救急救命士、救急隊員、事務部門等全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。  
 【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501(代表) 内線263 096-353-3515(直通)

# 2008年 研修日程表 2月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

2月	研修ホール	会議室	その他
1日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
2日(土)	14:00~16:00 第203回 滅菌消毒法講座《会員制》 「感染制御における材料室の役割」 熊本中央病院健診センター所長 後藤 俱子 一般演題		
4日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
5日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
6日(水)	18:30~20:30 第21回 熊本がんフォーラム 「緩和ケア：院内の取り組みについて」 司会 国立病院機構熊本医療センター内科部長 清川 哲志 責任者 国立病院機構熊本医療センター血液・膠原病内科 泉 達智 ※ その他、看護部、薬剤部からの発表を予定しています。		17:00 消化器疾患カンファレンス C
7日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
8日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
12日(火)	19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 19~21 泌・放射線科合同ウログラム C
13日(水)	13:00~17:00 日本医療マネジメント学会主催 平成19年度第2回クリティカルパス実践セミナー in 熊本(1日目) 18:00~19:30 第51回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルパス研究会(公開)		17:00 消化器疾患カンファレンス C
14日(木)	9:00~14:30 日本医療マネジメント学会主催 平成19年度第2回クリティカルパス実践セミナー in 熊本(2日目) 18:30~20:00 病薬連携研修会		7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
15日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
16日(土)	15:00~18:00 第219回 初期治療講座《会員制》 [日本医師会生涯教育講座5単位認定] [日本内科学会認定内科医更新のための2単位認定] 座長 熊本県医師会理事 伊津野良治 「呼吸器感染症の臨床」 1. 国立病院機構熊本医療センターにおける呼吸器感染症の現状 国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科 田尻 守拡 2. primary care における呼吸器感染症の臨床 甘木朝倉医師会病院副院長 古賀 丈晴 3. ウイルスとマクロライド 熊本大学大学院医学薬学研究部薬物治療学准教授 佐藤 圭創		
17日(日)	8:30~17:00 日本臨床細胞学会熊本県支部研修会 <総会・学会>		
18日(月)	19:00~20:30 第109回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定]		8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
19日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
20日(水)			17:00 消化器疾患カンファレンス C
21日(木)	19:30~21:30 第48回 有病者歯科医療講演会 座長 熊本県歯科医師会学術委員会理事 伊藤 明彦 「抗血栓療法時の止血管理」 山鹿市立病院診療1部長 新名主宏一	19:00~20:45 第78回 三木会 (糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
22日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
25日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
26日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(図) 19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
27日(水)	18:30~20:00 第88回 救急症例検討会 「胸痛・呼吸困難」		17:00 消化器疾患カンファレンス C
28日(木)		19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
29日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C

(図) 図書室 C 病院本館2階カンファレンス 手 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム

問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

TEL 096-353-6501(代)内線263 096-353-3515(直通)